

第9回神戸市みちの懇談会（議事要旨）

日 時 平成20年11月19日 午前9時30分～11時30分

場 所 神戸市役所建設局会議室（301・302）

1．委員紹介

2．要綱説明

3．座長選出

- ・座長は狭間委員、副座長は小寺委員に決定

4．道路行政、神戸のみちづくりの説明、現在の神戸市の道路について

- ・神戸は全体的に都市幹線的な大きな道路体系がよくできているが、道路はまだ車中心に考えられていて、効率性・利便性が重視され、道路のコミュニティ空間としての活用が失われている。
- ・市民のみちに対する意識を高め、市民が参画できる仕組みに変える必要がある。道路の管理に対する地域との協働・参画についても議論すればよいのではないか。
- ・駐輪対策や自転車の走行空間の確保など、自転車に対する議論が必要と考える。
- ・道路行政のプラス部分や、ボランティア・市民との協働などの神戸らしさについても積極的にPRしていく必要がある。また、整備する前に市民の声を吸い上げる仕組みも必要である。
- ・道路は安全性が一番重要であると思う。危険箇所については、市民とのパトロール等をもとに改善していくことが大切である。
- ・三宮は神戸の顔であり、使い勝手をよくし、歩いて楽しいみちに整備すべき。
- ・飲食店等の看板が雰囲気を壊している場所もある。部分的な規制や景観的施策が必要。
- ・道路はつながって意義がある。経済的損失や環境面を考えると、途切れている箇所やボトルネックを早期解消する必要がある。
- ・幹線道路ネットワークの整備については、物流等の交通を捌く道路と生活に密着した道路との関係を考える必要がある。

5．今後の進め方について

- ・懇談会での議論を施策に結びつけていくためにも、この懇談会の目指しているものを明確にし、この先の議論のための具体的な内容が必要。
- ・住民の要望全てに対応することは困難であり、選択と集中のために、5年間あるいは10年間で何をしていくかを議論する方法もある。

6．次回の議題について

- ・懇談会では、みちづくりに至る社会潮流のようなものは事前に資料を準備しておき、その上で議題を決めて、検討事項を明確にした方が議論しやすい。